

# 「縁・えにし」のよろこび

## 各法要とも、コロナ対策を徹底して開座しました！

### ～春季・彼岸会法要～（2021年3月17日）※昼席のみ

当山住職がご法話をしました。  
住職談→「他のお寺での布教より、緊張しました。」  
「でも、どこか安心できるのが自坊でもあります。」  
「お育てに感謝感謝です！」



コロナ禍の厳しい状況ではありますが、皆さまのお顔を拝見でき、共にお勤めできたこと有り難いお時間でした。

### ～春の仏教婦人会法座～（2021年4月5日）

この法座は、年2回（春・秋）開座しています。  
いつもでしたら、各地区役員様がお齋のご準備していただき、賑やかな雰囲気でご法座が勤まります。しかし、今はコロナ禍でお齋をいただくことはできませんが、ご法座でのお聴聞（法話を聞く）の場を大切に、役員様のご準備していただき開座することができました。ありがとうございました。



### ～永代経法要～ （2021年4月21、22日）※昼席のみ

あたたかな日差しと新緑が輝く中に、ご縁をいただきました。  
ご講師のお取次ぎ（ご法話）より、阿弥陀さまのあたたかいお慈悲に、いのち輝くお育てをいただきました。  
やっぱり、ご法座ライブは有り難い！！



## あみだれしび「彼岸とは？」について

- A) お彼岸は、ご承知のように年に二回、春分と秋分の日（お中日）をはさんで、前後一週間ずつあります。  
“彼岸”とは、迷いの世界を“此岸”というのに対して、さとりの世界を表す言葉で、お彼岸とか彼岸会という場合の“彼岸”は「到彼岸」の略、つまり「迷いの世界からさとりの世界へ到る道の実践」を意味します。  
浄土真宗では、さとりに至るための修行はせず、また、日々のお念仏の味わいが重要なのですが、このお彼岸の期間を「さとりの世界（浄土）へ至らしめてくださる阿弥陀さまのお徳を讃え、そのお心を聴聞させていただく仏縁」として大切にしています。  
“彼岸”は“あの世”とイコールではありません。「迷いの世界である“あの世”にいる故人を慰める」のではなく、「真実の世界である浄土に生まれた故人を偲びつつ、自分自身がその浄土へ到る道であるお念仏の教えに耳を傾ける」ご縁の期間であり、法要なのです。  
(本願寺HPより)

## 阿弥陀さまからのお手紙

### 『彼岸について』

福岡 義朝（広島県三原市 教専寺）

彼岸とは悟りの世界、即ちお浄土です。仏教は、私たちの人生を彼岸に向かわしむ教えです。彼岸の反対が地獄、餓鬼、畜生界です。さて、地獄、餓鬼、畜生は私たち人間が罰が当たって堕ちる世界ではありません。逆に私たちが日々よくあれと思つて向かっている世界です。

自分だけ、できるだけ楽をして食べてゆこうとする姿を畜生と言います。キャットフードやドッグフードを食べてごろごろしているペットを畜生と言います。ですから野良猫野良犬は、その意味では畜生ではありません。彼らは、寒さや雪の中でも必死に生きています。いわんや盲導犬は、菩薩の働きをしています。菩薩とは、他者の為に自分の全てを捧げて、見かえりを一切望まない姿を言います。寿命が十年もない盲導犬もいるそうです。それでも彼らは、何も要求いたしません。逆に現代は、人間の方が畜生になっているのではないのでしょうか。バブルというのは、日本全体が畜生化した姿だと思います。こつこつ働くより土地が値上がりする利益に、企業も銀行も群がった有様がバブルでした。

餓鬼とは、自分の欲求ばかり追い追いかける姿です。もつとやせたい、体のここがよくなればいい、若くなりたいたいと私たちは日々欲求を持ちます。そして、死ぬことにおいても欲があります。ころつと死にたい。いや一週間くらい煩つて別れをちゃんとして往きたいと。しかし、お釈迦様の最後はどうだったでしょう。クシナガラという地で最後まで法を説かれ、岩の上で涅槃に入られました。いわば野ざらしの中での最後でした。私たち生きることだけでなく、死ぬこともつい欲求が出てまいります。自らを省みることなく、欲ばかりで走り続ける様を餓鬼と言います。

地獄とは自分のことしか考えない様です。仮に、いまポンと十万円もらったらとても嬉しいものです。しかし、聞いてみると回りの人はみんな百万円もらっていた。するととたんに不快に感じます。やはり自分だけがという思いがあるからです。時々飛行機事故のニュースで、日本人の乗客はおりませんでしたと伝えられることがあります。そこには、何かしら良かったという雰囲気があります。しかし、他国の人は死んでいるのです。自分にかかわりがなかったら関心が無いという性質が人間の根底にあるようです。

このように私一人が欲に満たされて楽をしたか、というのが、地獄、餓鬼、畜生の世界です。しかし、これは人間が常に願っているものでもあり

## 「真教寺・報恩講法要」

11月25日（木）夜席

26日（金）昼・夜席

27日（土）昼席

※昼席（13時30分～15時30分）

夜席（19時30分～21時）

※コロナ感染状況では、日程変更もあります。改めて、ご案内致します。

